



赤い星の約束

SAM KING

CLAUDIA AGUIRRE



スペース・レンジャー：赤い星の約束



ルーチェン・インターステラーが極秘裏に実行した火星植民プロジェクト「レッド・プロミス計画」。数十年前にこの計画の先遣隊として火星に向かった科学者たちは、現地に基地を建てたものの、テラフォーミングの過程で異常気象を引き起こしてしまう。激しい砂嵐にさらされる先遣隊の基地。その中で「ジュノ」という名前の一人の子供が生まれる…。

作者 **SAM KING** アート **CLAUDIA AGUIRRE** 英語活字デザイン **ANDWORLD DESIGN** カバー **CLAUDIA AGUIRRE**

BLIZZARD ENTERTAINMENT

シニア・ディレクター、ストーリー&フランチャイズ開発 **VENECIA DURAN**

シニア・マネージャー、ライティング&ブックス **MATTHEW COHAN** エディトリアル・スーパーバイザー

CHLOE FRABONI シニア・ブランド・アーティスト **COREY PETERSCHMIDT** プロダクション **BRIANNE MESSINA**,
AMBER PROUE-THIBODEAU, **LAURA WOODWARD** ゲーム・チーム・コンサルタント **JEFF CHAMBERLAIN**,
NESSKAIN, **DION ROGERS**, **JOSHI ZHANG**



© 2024 Blizzard Entertainment, Inc. BlizzardおよびBlizzard Entertainmentのロゴは、米国およびその他の国におけるBlizzard Entertainment, Inc.の商標または登録商標です。

Published by Blizzard Entertainment.

本作品はフィクションです。本作品に登場する名前、キャラクター、場所、出来事は、著者または作者の想像による産物または架空のものです。実在する人物（存命中または故人）、出来事、団体、場所に類似するいかなる描写も、風刺的な意図はなく、偶然によるものです。Blizzard Entertainmentは著者や第三者のウェブサイトもしくはそのコンテンツを管理しておらず、またそれらについて一切の責任を負いません。

両親が参加した
極秘プロジェクト
“レッド・プロミス計画”…



…そこには夢があった



火星に人類の版図を
広げるという夢



前例はないし
すごく危険
それでも…



…重要な任務で
やり甲斐があって…

ジャー！
イオン化の
調査結果が
出たよ

张佳怡博士



…可能性に満ちてた

数年後に生まれた私も…



…その“可能性”の
一つだった

人類史上初にして
唯一の“火星”人

だけど、寂しくはなかった
みんなが家族と同じように
接してくれたから

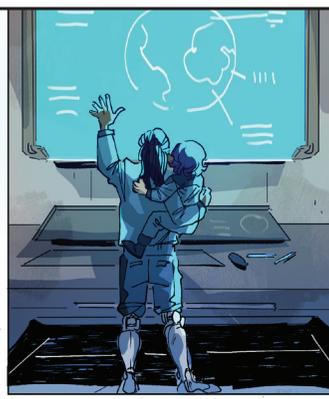


こちらこちら!

CHÚC
MỪNG THỜI
NỜ!

食っちゃダメだよ
ジュノ!

もちろん、基地の中は子育てなんて想定されていない
それでも、私はすくすくと育った



どちらかという
基地の中じゃなくて
外の方が好きだったけど

ジュノ
待って!
危ないよ!

そんな私のために
みんなが用意してくれたのが…

…特製のスーツだった

天体物理学の
博士号なんて
持ってなかったけど
私なりの方法で
役に立てるように
みんなが
いろんなことを
教えてくれた

最初は不安だった
でも
自分の生まれた
星を歩くのが
好きだったから…

…大変な仕事も
ぜんぜん
嫌じゃなかった

投げて
みようよ!

どんな問題が起きたって
絶対に解決できる…
そう信じてることができた

みんながいたから



火星での生活は
楽じゃない

みんなが頑張って
取り組んでた
テラフォーミング
計画は…

…この星の
大気を変えた



火星では
砂嵐がよく起きる



それがどんどん大きく
激しくなっていた

だけど、みんなが
どんな状況にも対応できる
装備を作ってくれた



だから、いつか…



…この壁を
乗り越えられると思った

私たちなら
この先どんな壁をも…って



FWOOOSH

でも、そんな時…



テラフォーミング計画を
主導してた地球の会社と突然
連絡が取れなくなった

“レッド・プロミス計画”はもっと壮大なはずだった
第一陣のみんなは、たくさんの人や物資が
地球から送られてくると考えてたみたいけど…
一度も来ることはなかった



…地球に
戻る？



…戻ろうにも
物資が十分に
ない…

…この基地は
あと何年
嵐に
耐えられるんだ？



…正確に計算する
必要がある
計画を立てよう…



私が不安にならないように
みんなは気を遣ってくれたけど
なんとなく気づいてた…

…残された時間が
もう少ないってことに

数か月して
ドッキング・ベイに
連れてこられた



みんなが私のために
限られた資源を使って
宇宙船を作ってくれた



“ジュノにも
独り立ちする時が
来たんだよ”
って言ってたけど…

…私にはわかった

出ていけ
ってこと…?

自分たちが帰れなくても
せめて私だけは…という
みんなの想いが



私にはどうても
受け入れられなかった





怒りと…
不安で
いっぱいだった

火星が私の知る唯一の故郷
家族が私にとっての
世界そのものだったから

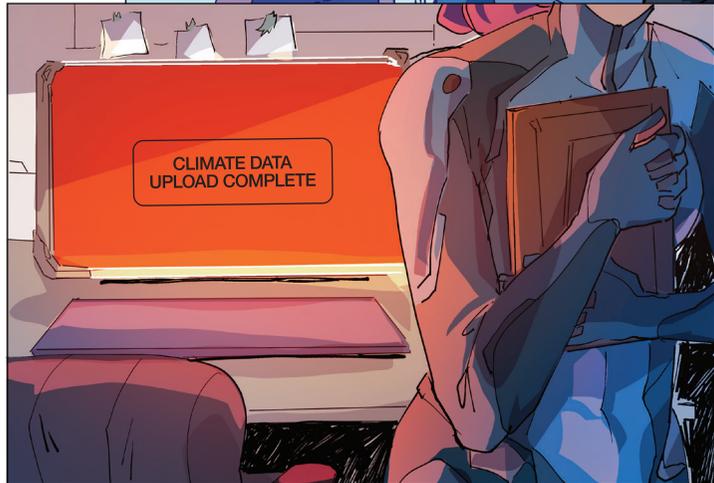


むかし言われたことがある
壁は高ければ高いほど
乗り越える価値があるんだって

TASTROPHIC
CLIMATE
INCIDENT
IMMINENT



そして、世界の向こう側には
同じ未来を目指す仲間がいるはずだって





出発の日が来た
家族に別れを言うとき…

We love
you, Juno!

We love
you, Juno!

We love
you, Juno!



…“絶対にまた会おう”
って私は伝えたけど…

…みんな本気に
してなかったと思う



時間よ
ジュノ

woopwoopwoop



だけど、私は会えると信じてる
うん、信じないといけない…



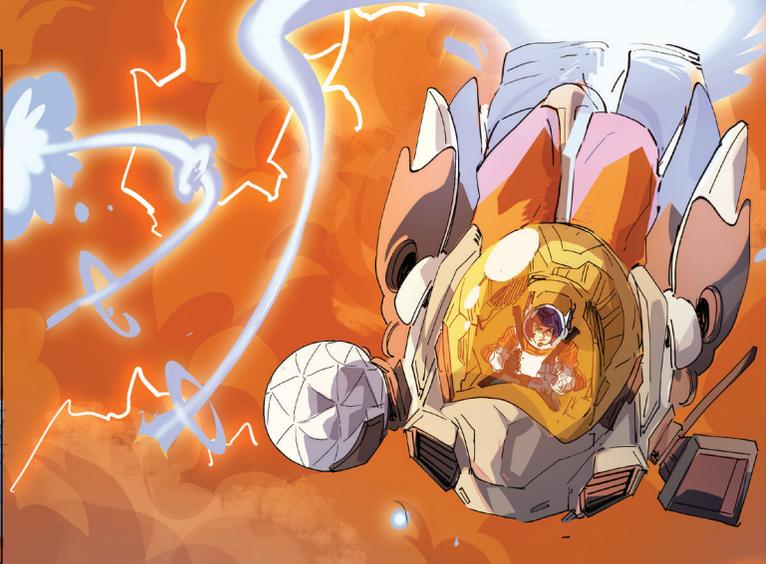
…みんなの分まで



私の家族には夢があった

WHRRRRR

火星に人類の版図を広げるといふ夢



そして今、私にも夢がある…



…故郷を救うという夢が

